

# Ipad アプリケーション 「ロイロノート」を使った実践

H24 3月 藤城小学校 1年

## 1. 教科・単元・教材

国語科 「おはなしをたのしもう」 たぬきの糸車

## 2. 学習の流れ

教材「たぬきの糸車」を読んだ後、児童がそれぞれ一番好きな場面を選び、その場面の紙芝居を製作する。紙芝居は、場面を想像して描いた絵と、児童が登場人物の気持ちや台詞を想像し、教科書のお話に付け加えた文からなる。それらを ipad に取り込み、つなげて、電子紙芝居にする。

児童の作った紙芝居は、ロイロノートを使って ipad に取り込む。まず、場面の絵をロイロノートのカメラ機能を使って撮影し、一枚のカードとして登録する。



カードとして登録した場面の絵に、児童が作った場面のお話を録音する。ロイロノートの機能を使って、一枚のカード最大で 60 秒間、録音できる。



録音を終えたカードを場面の数だけ集め、お話の順につなぐと、電子紙芝居が出来上がる。今回の学習では、4人グループで1つの ipad を使用したが、場面は6つあったため、足りない場面はロイロノートの「トンネル」機能を使って、他のグループから受け取り、場面をつないだ。

出来上がった紙芝居は、そのままロイロノート上で再生することができる。また、「動画の書き出し」機能を使うと、「MOV」の形式で書き出されるため、windows パソコンからでも視聴できるようになる。



## 3. 実践をした感想

1年生には、アプリの操作が難しいかと思っていたが、ipad 画面を大型テレビに映して説明をすると、すぐに捜査を覚え、すらすらと学習を進めていくことができた。アプリ内のボタンには学習していない漢字も多く使われているが、感覚的に覚えて進めているようだった。1つの教室内で6グループが同時に録音の作業をしても、周りの音がほとんど気にならないくらい、録音の性能は高い。録音してすぐに聞きなおすことも簡単にできるので、音読の練習に使うにもとてもよい機能だと思った。